

CASBEE® 建築評価認証書

一般財団法人日本建築センターCASBEE評価認証業務規程
第8条の規定に基づく審査の結果 CASBEEによる建築物
の総合環境性能評価が的確であると認証する

評 価

★★★★★ Sランク

建物名称 : 仙台市役所本庁舎

申請者 : 仙台市

建設地 : 宮城県仙台市

評価段階 : 実施設計段階

評価ツール : 建築(新築) 2021年SDGs対応版

有効期限 : 2034年3月30日

2024年3月22日



一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan



橋本 公博



CASBEE[®]-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仙台市役所本庁舎	階数	地上15F+地下2階
建設地	宮城県仙台市	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,600 人
地域区分	4地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2031年 予定	評価の実施日	2022年12月13日
敷地面積	14,595 m ²	作成者	小林一文
建築面積	7,476 m ²	確認日	2022年12月13日
延床面積	65,841 m ²	確認者	小林一文



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 4.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 59%

③上記+②以外の: 59%

④上記+: 59%

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

3(保健): 2.8, 4(教育): 2.3, 5(ジェンダー): 2.9, 6(水・衛生): 2.9, 7(エネルギー): 2.7, 8(経済・雇用): 2.8, 9(イノベーション): 2.7, 11(都市): 2.7, 12(生産・消費): 2.9, 13(気候変動): 2.4, 15(陸上資源): 2.3, 17(実施手段): 2.3

2-4 中項目の評価 (パーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 4.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 5.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
総合 「防災環境都市」として杜の都・仙台にふさわしい庁舎を計画します。 自然エネルギーを積極的に導入した省エネルギーを目指します。		その他
Q1 室内環境 自然風を積極的に取り込む平面形状とし日常的な執務空間の快適さと共に省エネを推進します。敷地における卓越風の方向に合わせた平面形状の凹凸により正・負圧帯を形成し、自然風を促進します。	Q2 サービス性能 ユニバーサルデザインを取り入れて、分かりやすい案内やサインによって市民が利用しやすい庁舎とします。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地に緑化を行う各ゾーンにそれぞれ異なる特徴を持たせ、敷地を囲むように植栽を配置することで、敷地全体において「緑の回廊」を形成する計画とします。
LR1 エネルギー 外壁・開口部の断熱強化、動的熱負荷計算による熱源容量の最適化等の工夫により省エネルギーを図ります。	LR2 資源・マテリアル エントランスホールに地中熱を活用した床放射空調システムの採用など工夫を行います。	LR3 敷地外環境 ビル風を抑制する平面形状・防風林の設置を行い周辺環境への配慮を行います。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される